

地域連携アクティブスクールの今後の展開

◇今後の指針として、

4つの柱

目 標

目標達成に向けた具体的なシステム等

を整理

学ぶ意欲に応える 学習指導

基礎学力の定着を図り、
生徒の満足度を高める

- ・学び直しの明確な位置付け
- ・少人数授業の実施
- ・教員の指導力向上に向けた研修会の実施

実践的な キャリア教育

コミュニケーション能力
や倫理観を身に付ける

- ・「産業社会と人間」の導入
- ・生徒全員対象のインターシップ
- ・ソーシャルスキルトレーニング

地域との連携

地域とともに歩む
学校づくりを進める

- ・学習ボランティアの積極的な活用
- ・地域の教育力を活用した体験学習
- ・推進協議会の開催

独自の入学者選抜

人間性や学ぶ意欲を重視する

- 《一期選抜》
学力検査（国英数）、作文、面接
- 《二期選抜》
学校独自問題（口頭試問も可）、面接

地域連携アクティブスクール 評価報告書（要約版）

県教育委員会は、平成24年度、泉高等学校と天羽高等学校に「地域連携アクティブスクール」を設置しました。

地域連携アクティブスクールは

- 「県立学校改革推進プラン」に基づく改革の一環として設置。
- 地域とともに生きる自立した社会人を育成する新たなタイプの学校。
- 文部科学省の指定を受けた実践研究の成果を反映。

設置から3年が経過し、より魅力ある学校となるよう取組状況を整理し、成果や課題等、評価の概要をとりまとめました。



船橋古和釜高校 (H27～)

流山北高校 (H27～)



天羽高校 (H24～)

泉高校 (H24～)

※ 評価報告書の詳細は、県教育委員会のホームページにアップしています。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kaikaku/miryoku/koukou/active-school.html>

平成27年7月

千葉県教育庁
企画管理部県立学校改革推進課